

# 鴨川小学校だより

令和6年5月10日第5号(保護者の皆様へ)

## 『子どもが育つ魔法の言葉』

一昨年にも紹介した本『子どもが育つ魔法の言葉』(ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 石井千春 訳)。本の冒頭に「子は親の鏡」と題した20行にもわたる詩が掲載され、詩を一連ごとに取り上げて、解説が加えられています。その内容は、「親」を「教師」に置き換えて通じることも数多くあります。子どもは親や教師をよく見えています。大人のありのままの姿をよく覚えています。以下の詩に思いを寄せ、子どもたちに向き合っていければと思います。

### 子は親の鏡

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

(校長 福井 明)